

伊那発！完全地産・製造業ご当地お土産プロジェクト 地域活性化推進事業

取組に至る背景・事業の目的

上伊那地域の経済をけん引する製造業は地域産業を支える源泉であり、雇用を生み出す原動力を担っている。しかしながら産業のグローバル化や長引く不況等から海外シフトが進み、産業の空洞化という深刻な事態が発生するなど、製造業を取り巻く環境は増々厳しくなっている。

また、このような状況は、若者や障がい者の雇用の場の縮小を余儀なくし、地域経済全体の衰退にも直結してしまう。

こうした地域課題を打開するために、「地域で新たに仕事を作る」ことを目的に、伊那にちなんだ「お土産」を伊那の製造業者、社会福祉団体、商工団体等地域のものづくりに関わる人々の手で「完全地産」の理念によって新たに作り上げる「製造業ご当地お土産プロジェクト」の活動を行うこととした。

事業内容

伊那谷の魅力を発信する土産品として、高遠城跡公園のサクラをテーマとした「光るサクラコマ」の試作品製作と、伊那市のイメージキャラクター「イーナちゃん」をテーマに自ら歩く「とことこイーナちゃん」の開発及び金型の製作を行った。

市民と連携しご当地お土産とまちづくり、ものづくりを考えるワークショップの開催。（15回開催、延参加者 198名）

小学生にもものづくりの大切さと地元で働くことの意義を教えるワークショップの開催。（2回開催、延参加者 41名）

また、全国で活躍するものづくり専門家を招いて「製造業ご当地お土産プロジェクトシンポジウム」を開催した。

（参加者 97名）

製品の組立て・梱包の一部を障害者就労施設で行い、障がい者等の就労支援と施設の利用率向上を図った。



【製造業ご当地お土産シンポジウム】

事業効果

「光るサクラコマ」と「とことこイーナちゃん」を作る過程で、子どもからお年寄りまで多くの市民と協働し、ものづくりの面白さや地域で働くことの意義等を広め、地域活性化に繋げることが出来た。

全国にアピールできる伊那のお土産を具体的に形にすることで、伊那といえば「完全地産!」、「製造業ご当地お土産プロジェクトのまち」として「ものづくり伊那」の地域ブランドの創出と地域住民の郷土愛を醸成した。

また、シンポジウムやワークショップを通して、ものづくりの未来を担う子ども達に夢を与え、障がい者や若者の就業支援や起業マインドの向上をさせることで、「地域」が元気になるきっかけとなり、市民の誇りと絆を高めることができた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

ご当地お土産プロジェクトの強みは、地域内で最終製品を作り上げることが出来る点である。新しいアイデアを迅速にカタチにすることができ、今後も地域住民と連携して「ご当地お土産」を作ることができる環境を持続させることで、新産業の基盤を強固なものとし、さらなる雇用の創出と地域活性化を目指して行く。

【選定のポイント】

地元のお土産を地元業者と市民が協働し工程のすべてを地域内で行うとともに、組立の一部を障害者就労施設で行い、障がい者等の就労支援に繋がった。また、子どもを対象としたワークショップをものづくりや地元で働く意義を考える機会とし、次世代の人材育成にも貢献している取組は全国的にも珍しい取組であり、テレビ、新聞等でも多く取り上げられた他、事業終了後も新たな製品開発が進むなど、大きな波及効果も認められた。

団体名	伊那発！製造業ご当地お土産プロジェクトチーム（伊那市）	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	電話：0265-73-6033	事業費	5,541,530円
ホームページ	http://kanzenchisan.com/	支援金額	3,440,000円
メールアドレス	hashizume@swany-ina.com		